クイック ガイド

COMPASS GPS

データ移行

はじめに

COMPASS GPS にある「データ移行」について説明します。「セッション スタート」画面の左側のメニューから選択可能です。データ移行では、補聴器の設定データを同一シリーズの異なるモデル、クラスの補聴器に移行できます。

データ移行について

データ移行はすべてのシリーズで有効ではありません。移行できるのは、同じシリーズ内である限り、異なるレベル、モデル、イヤウェアを持ったものです。同じシリーズであれば、クラス、モデル、イヤウェア構成の違いに関わらず、補聴器の設定データを他の補聴器に移行できます。

データ移行先の補聴器に以前使用された別のユーザーの設定データがあり、現在のユーザーに適さない場合には、データ移行が完了してから補聴器を試聴するようにしてください。

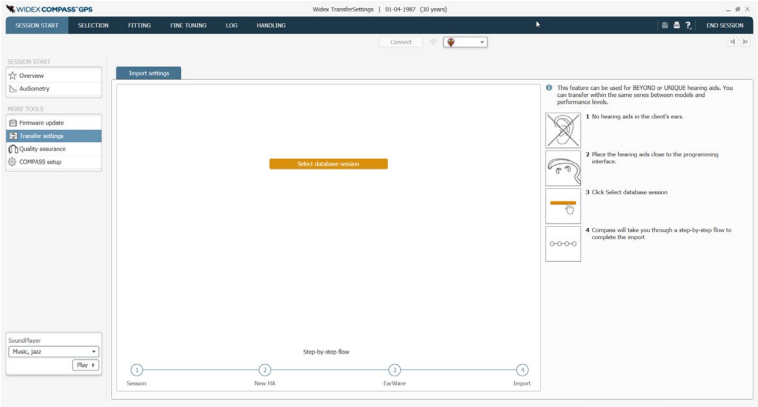
EVOKE / MOMENT サウンドセンス アダプト
サウンドセンス アダプトのデータも含めて移行させたい場合、まず補聴器からデータをセッションデータとしてパソコンに保存します。データ移行の際に、そのセッションから行ってください。

データ移行は、補聴器の設定データを移すものであり、音質をコピーするものではありませんので注意してください。

クイック ガイド

データのインポート

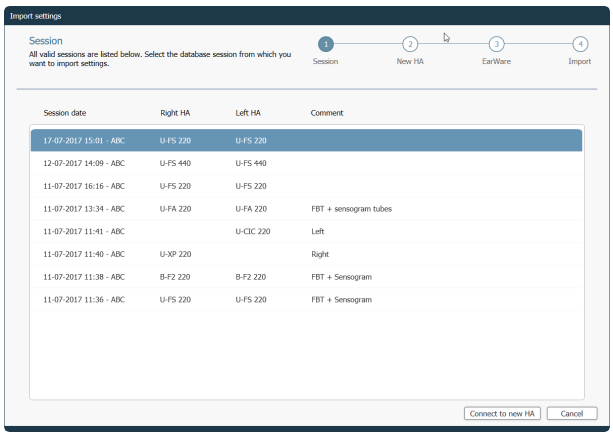
保存されたセッションデータからインポート:



1. セッションスタート画面より「データ移行」を選択。データ移行画面内に「インポート設定」が開く。

2. 移行先の補聴器をプログラミングインターフェースの近くに置きます。補聴器をまだ耳に着けないでください。

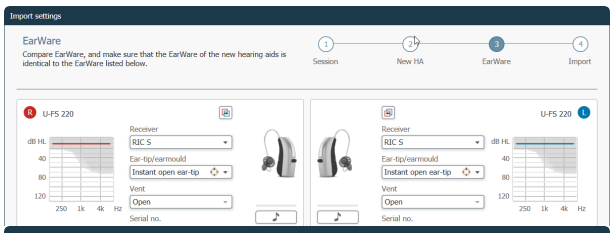
3. 「データベース セッションの選択」をクリックすると、インポート可能な有効なセッションが一覧表示されます。



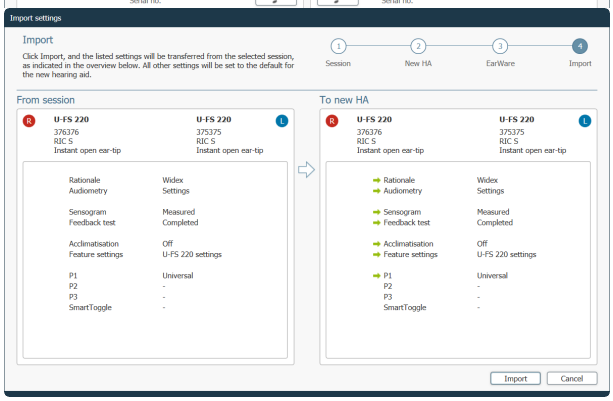
4. データは、新しい順に表示されます。移行したいデータを選び、「移行先の補聴器へ接続」をクリックします。

5. 検出された補聴器が表示されます。左右を指定し、「次へ」をクリックします。

6. 接続された補聴器とセッションデータから読み込まれたイヤウェア情報が表示されます。選択された補聴器に対してイヤウェアを変更可能な場合、このオプションを選択可能です。適切なイヤウェアと音響構成を選択し、「次へ」をクリックします。



7. 移行されるデータが表示されます。どの設定がどのように移行されるか示しています。その他の設定は移行先補聴器のデフォルトになります。この画面は最終段階です。先へ進むとキャンセルはできません。先に進むには「インポート」をクリックします。



8. データの移行が完了します。

データ移行の詳細

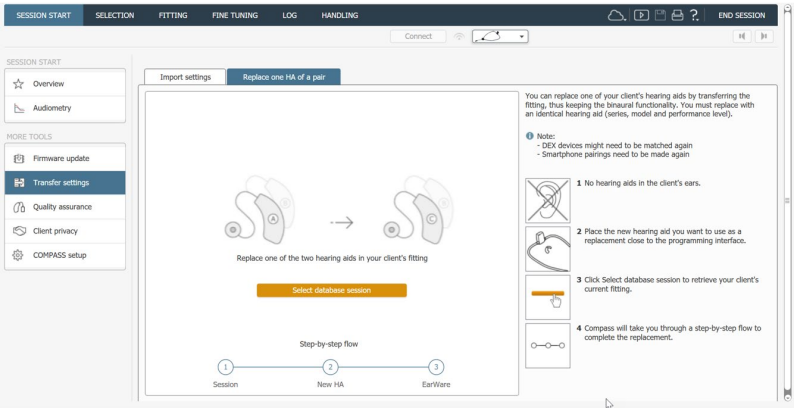
下記事項に注意してください

- 聴力データは新しい補聴器へすべて移行されます。プログラム設定、サウンド クラス、機能設定は、可能な限り移行されます。
- 順応設定はインポートされました。自動順応がオンになると特別な条件が適用されます。
- 可能な場合、フィードバックテストとセンソグラムの測定結果、AutoREM の値はインポートされます。音響構成が変更された場合（モデル、レシーバー、イヤチップ/イヤモールド、チューブなどの変更）、これらの値はインポートされません。再度測定が必要です。
- その他の設定は、推奨値へリセットされます。お知らせ音、ユーザーコントロール、IE 両耳協調構成、調整担当者設定は、初期値へリセットされます。
- 移行先の補聴器にあるデータに上書きされます。
- DEX や CROS/BiCROS 、アプリの設定は、移行されません。 再度マッチングやペアリング設定が必要です。

補聴器のペアのうち 1 つを置き換える

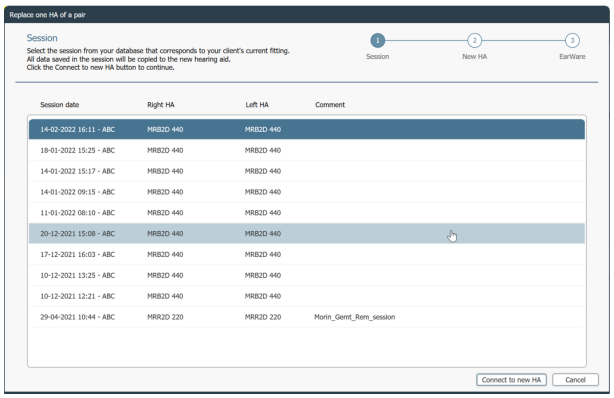
ペアのうち 1 つの補聴器しか利用できず、ペアリングを解除することなく置き換える必要がある場合、この機能を利用できます。お客様の補聴器の 1 つに不具合がある場合などに、これは役立つ場合があります。

注：同一の補聴器で置き換える必要があります。前に使っていた補聴器と同じシリーズ、モデル、クラスのものである必要があることを、意味します。



両耳協調機能をすべて維持した状態でペアリングされている補聴器を置き換えるには

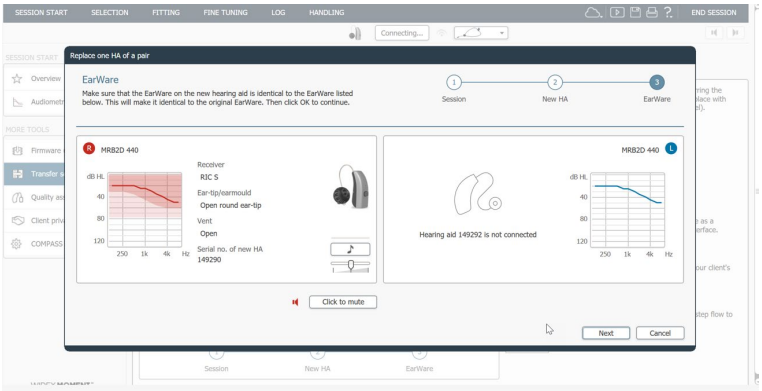
1. 「セッションスタート」ウィンドウより「*データ移行設定*」を選択します。
2. 「*補聴器のペアのうち 1 つを置き換える*」タブを選択します。
3. 「*データベースセッションの選択*」をクリックすると、データベースからインポートできる有



効なセッションが一覧表示されます。セッションは両耳でなければ有効になりません。

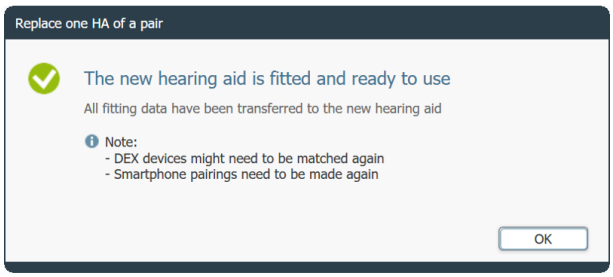
4. すべての有効なセッションが、新しいものから順に表示されます。使用するセッションを選択し、接続する新しい補聴器を準備し、「*新しい補聴器へ接続*」を選択します。

5. 検出された補聴器が表示されます。交換する側を選択して、一覧で新しい補聴器を選択します。「*次へ*」ボタンを押します。



6. COMPASS が、新しい補聴器を表示します。その際、保存済みのセッションから読み込まれたイヤウェア情報も表示されます。実際のイヤウェアが、前に使っていた補聴器と同じであることを確認してください。「*OK*」ボタンを選択します。

7. COMPASS が、最新のファームウェアが新しい補聴器で利用可能になっていることを確認し、データをインポートし、「フィッティングの概要」ウィンドウを表示します。この際、補聴器がフィッティングされ、使用できる準備が完了したことを伝えるメッセージが表示されます。「*OK*」を選択して、メッセージを閉じます。



新しい補聴器が接続され、ペアのもう一方の補聴器が現在利用可能になっていないことが画面に表示されます。

注：DEX デバイスを再度マッチングする必要があるかもしれません。前に使っていた補聴器がスマートフォンとペアリングされていた場合は、ペアリングを再度行う必要があります。

より詳細な説明を COMPASS ヘルプで参照できます。？アイコンをクリックするか F1 キーを押してください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷されたものが御入用の場合、無償にてサイト http://widex.pro/gps-startup-guide, から依頼できます。配達には 7 営業日かかります。また、この文書は、サイト http://widex.pro/gps-startup-guide からダウンロード可能です。

Copyright © Widex. All rights reserved.

Document version: 5.0. Issue date: 2023-08